



No.88

やわらぎつうしん

特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ 2024年9月25日発行

ケア・センターやわらぎ 令和5年度 事業報告・決算報告

1. はじめに（令和5年度を振り返って）

コロナ禍もかなり落ち着いてきた令和5年度は、中止していたいくつかの取組みも復活し、世の中も活気を取り戻しつつある日常になりました。

令和5年度のトピックスとして挙げられるのは、昨年度にご報告させていただきました学芸大学との共同研究事業の具体的取組みとして「探究学習介護ラボ・だいじなじぶん」のワークショップの開催です。学芸大学の図書館を利用して、以下のワークショップを開催しました。

第1回 23.11.15(水)「介護ってなんだ」を考える

第2回 23.12.14(木)「体験する」

(大きな災害が発生したとの想定で、図書館を避難所に見立ててロールプレイ)

第3回 24.01.18(木)「理想の介護」を考える

上記3回の参加者は合計192名になり、特に第2回の避難所ワークショップは参加者全員多くの気付きと学びがありました。

このワークショップの実践から、令和6年度へむけてすでに新しい企画があり、現在着々と進めています。

上記の「探究学習介護ラボ」ワークショップのピラには、「介護に関する既存の思い込みや先入観などを超え、“だいじなじぶん”を探究する教育・福祉横断型プロジェクトであり、インクルーシブな社会や教育の在り方を研究実践していきます。」と書かれています。さまざまな領域の知恵とリソースを持ち寄って新しい手法を編み出し、今までの先入観に捉われずに前に進んでいくことが、今改めて重要であると感じました。

GCAT(ジーキャット)の取組みの一つとして、メンター制度の強化のための様式整備を行いました。また、中止していました第15回「実践報告会」を開催しました。

地域貢献事業として、立川市での研修事業は25年間続いています。令和5年度は、山梨県上野原市で「介護福祉士実務者研修」を開催し、令和6年度は、日野市・杉並区で「介護職員初任者研修」の開催を予定しております。

毎年ご報告しています、さまざまな取組は継続して実施してきました。紙面の都合上割愛させていただきます。

2. 事業所別報告概要

- (1) 「やわらぎ立川」は「地域に根差した頼りになる施設づくり」を目指して、在宅系サービスを中心に訪問介護（介護保険、障害者総合支援等）と通所介護サービスに加え、健康体操、学

級介助員や研修事業を提供しています。近年ICTの活用といった時代の変化にも適者生存の精神でスタッフと訪問介助員の皆で力を合わせて業務改善に繋げています。通所介護では、少人数ならではの利用者主体を基本に生きがいを共に見つけ、一人ひとりが主役になれるお手伝いをしています。「やわらぎ 大好き！」の声やご家族様からの「ありがたい！」と感謝の言葉をいただくことがスタッフの励みとなっています。

令和6年度もこれまで以上に地域に根付き信頼を頂き、愛されるようなやわらぎ立川、そして皆様を笑顔で元気にさせるやわらぎ立川を目指します。

- (2) 「やわらぎ国分寺」では居宅介護事業・訪問介護事業・認知症対応型通所介護事業の3事業に加え、シルバーピアの委託管理業務を行っています。昨年度も新型コロナウイルスの流行が続きましたが、事業所内での感染拡大は避けることができました。また、感染症予防を行いながら、ボランティアや研修会、会議への参加等、少しずつ外部とのかかわりを増やしていくことができました。

令和6年度においても引きつづき感染予防に努めながら、地域とのかかわりを拡大し、信頼される事業所としての役割を果たしていきます。

- (3) 「やわらぎ西立川」ではグループホーム、ショートステイ、デイサービス事業の3事業を実施しました。

令和5年度は、2月～3月にかけて各サービスにて新型コロナウイルス感染症が発生し、ご利用者様・職員複数名にコロナ感染がありました。感染が拡大している時期は、ショートステイ・デイサービスで利用控えが見られましたが、感染予防対策を徹底し、ご利用者様のニーズに柔軟に対応いたしました。地域交流については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、感染予防に努めながら少しずつボランティア交流を再開をしています。相談窓口は開放し、地域にとって頼りになる福祉拠点を目指しました。

3. 決算報告書(抜粋)(自:令和5年4月1日 至:令和6年3月31日)

単位(円)

収益		費用	
事業収益	461,728,688	事業費	435,310,930
介護保険事業収益	369,970,313	人件費	281,037,472
障害者総合支援法事業収益	25,460,793	その他事業経費	154,273,458
利用者負担金収益	41,468,725		
介護人材育成事業収益	2,527,170		
その他の事業収益	22,301,687		
補助金助成金	4,340,400	管理費	52,991,831
寄付金	0		
雑収益	7,753,458		
収益合計	473,822,546	費用合計	488,302,761

第21回利用者アンケート調査報告書（2023年度）

2023年11月に、当法人が提供する各サービスの内容等について、ご利用者様またはそのご家族様のご意見・ご要望等を把握し、今後のサービスに活かすことを目的とし、利用者アンケートを実施いたしました。調査結果の概要をご報告いたします。

1、調査方法の概要

調査対象	2023年10月1日～10月31日迄の間に「ケア・センターやわらぎ」のサービスを利用された方
対象者数	357人
調査方法	郵送及び訪問留置・訪問回収による質問紙・ウェブ調査
調査実施期間	2023年11月20日～12月31日
調査実施者	特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ 広報広聴部会

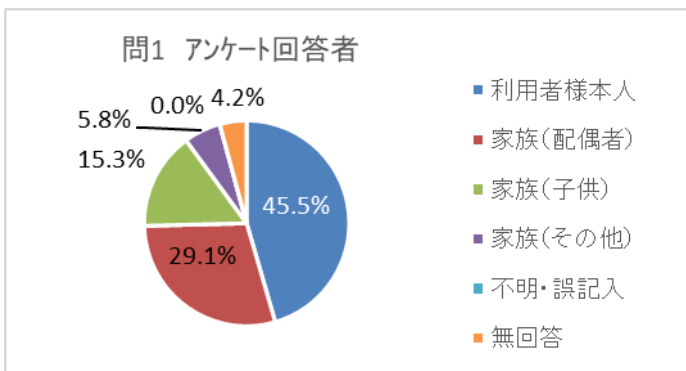
2、配布枚数と回収率

事業所名	配布総数 (A)	回収数				回収総数 (B)	回収率 (B) ÷ (A)
		用紙 (件数・%)		ウェブ (件数・%)			
やわらぎ立川	98	39	92.9%	3	7.1%	42	42.9%
やわらぎ国分寺	122	84	93.3%	6	6.7%	90	73.8%
やわらぎ西立川	137	48	84.2%	9	15.8%	57	41.6%
やわらぎ法人全体	357	171	90.5%	18	9.5%	189	52.9%

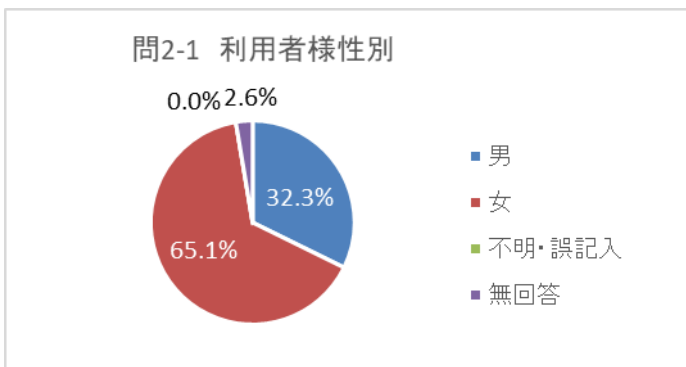
2022年度から、従来の用紙配布と並行してウェブ回答が可能になりました。回収率は昨年度35.4%に対し今年度は52.9%で増加しています。事業所によって増減がありますが、次年度以降も回収率が上がるようにご利用者様ご家族様にお願いの声掛けを丁寧に行って参ります。

3、調査結果の詳細

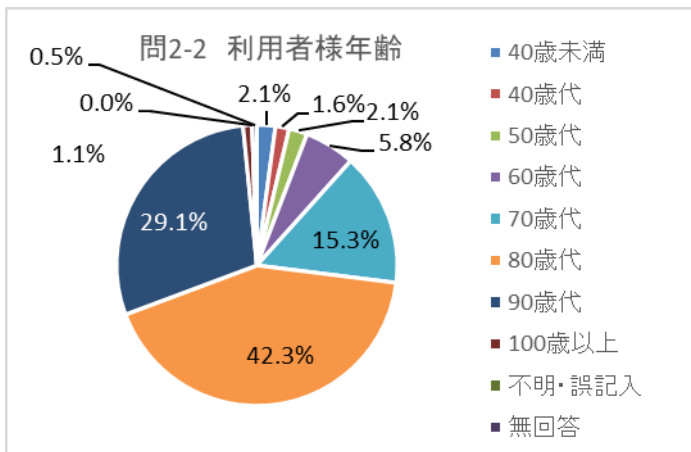
(問1)アンケート回答者	件数	割合 (%)
利用者様本人	86	45.5%
家族(配偶者)	55	29.1%
家族(子供)	29	15.3%
家族(その他)	11	5.8%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	8	4.2%
総計	189	100.0%



(問2-1)利用者様性別	件数	割合 (%)
男	61	32.3%
女	123	65.1%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	5	2.6%
総計	189	100.0%



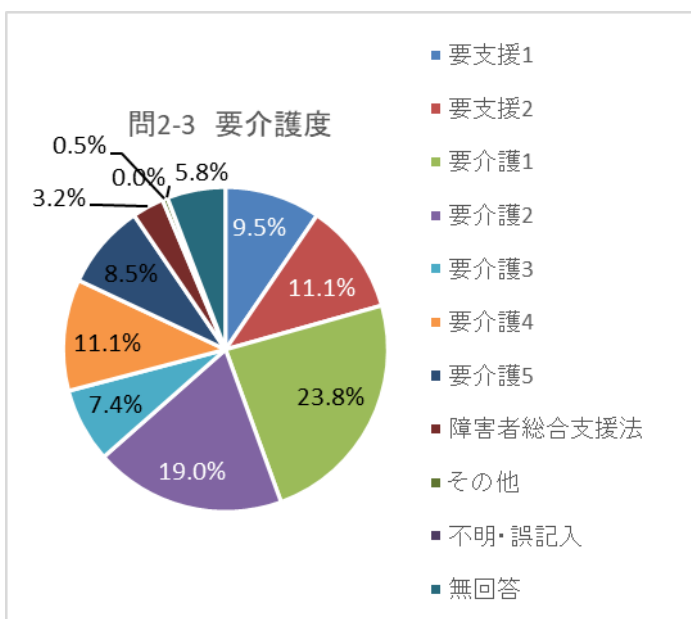
(問2-2)利用者様年齢	件数	割合(%)
40歳未満	4	2.1%
40歳代	3	1.6%
50歳代	4	2.1%
60歳代	11	5.8%
70歳代	29	15.3%
80歳代	80	42.3%
90歳代	55	29.1%
100歳以上	2	1.1%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	1	0.5%
総計	189	100.0%



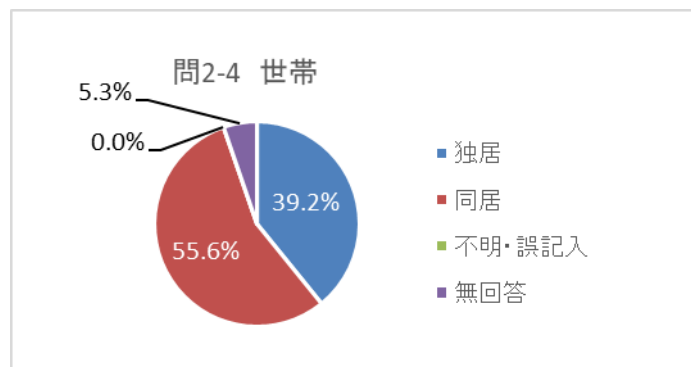
アンケート回答者は、約4割強が「利用者様ご本人」、約3割が「ご家族(配偶者)」、約1割強が「ご家族(子供)」となっています。回答者の性別は、「女性」が約3分の2を占めています。年齢別では「80歳代」が約4割、「90歳代」が約3割、「70歳代」の方が約1割強となっています。

(問2-3)要介護度	件数	割合(%)
要支援1	18	9.5%
要支援2	21	11.1%
要介護1	45	23.8%
要介護2	36	19.0%
要介護3	14	7.4%
要介護4	21	11.1%
要介護5	16	8.5%
障害者総合支援法	6	3.2%
その他	1	0.5%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	11	5.8%
総計	189	100.0%
平均要介護度※	1.97	

※要支援1・2は0.375として算出。

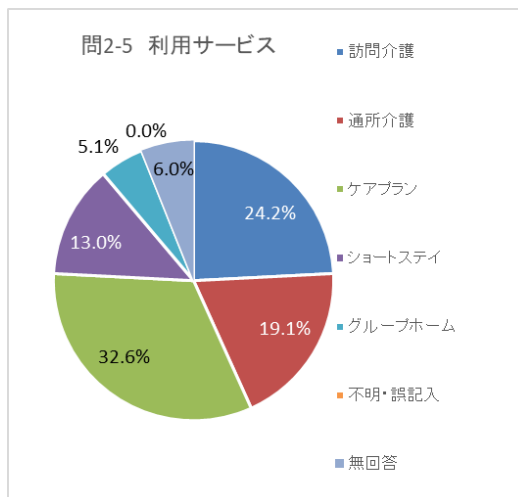


(問2-4)世帯	件数	割合(%)
独居	74	39.2%
同居	105	55.6%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	10	5.3%
総計	189	100.0%



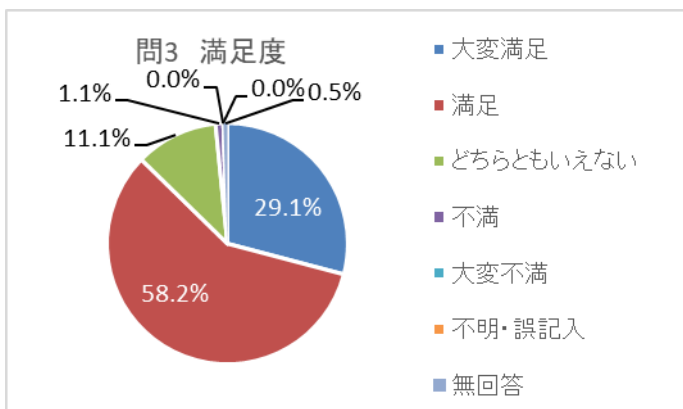
(問2-5)利用サービス	件数	割合(%)
訪問介護	52	24.2%
通所介護	41	19.1%
ケアプラン	70	32.6%
ショートステイ	28	13.0%
グループホーム	11	5.1%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	13	6.0%
総計	215	100.0%

※複数回答可

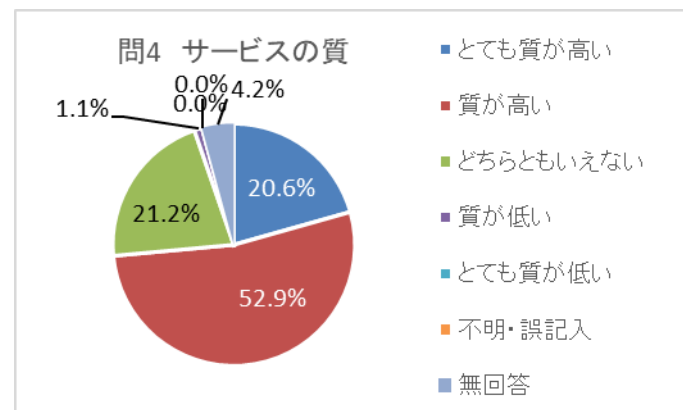


平均要介護度は昨年度の 1.95 から 1.97 と少し上がりました。障害者総合支援法のご利用者様も約 3.2%が回答しています。世帯構成は同居の方が約6割、独居の方が約4割となっています。ご利用中のサービスではケアプランが約3割、訪問介護が約2割強、通所介護が2割となっています。

(問3)満足度	件数	割合(%)
大変満足	55	29.1%
満足	110	58.2%
どちらともいえない	21	11.1%
不満	2	1.1%
大変不満	0	0.0%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	1	0.5%
総計	189	100.0%



(問4)サービスの質	件数	割合(%)
とても質が高い	39	20.6%
質が高い	100	52.9%
どちらともいえない	40	21.2%
質が低い	2	1.1%
とても質が低い	0	0.0%
不明・誤記入	0	0.0%
無回答	8	4.2%
総計	189	100.0%



満足度は約9割の方が「大変満足」または「満足」と回答しています。サービスの質は約7割強の方が「とても質が高い」または「質が高い」と回答しています。具体的には「親切で丁寧にケアして頂いている」などの自由記述がありました。しかし「大変不満」「不満」「どちらでもない」の回答の一部には、「利用者が意見、希望などを言うと反論が強く返ってくる」といった意見もありました。これらの結果を踏まえ、それぞれの立場からひとつひとつのケアを丁寧に行い、満足度を高めることで地域福祉に貢献して参ります。

歩行分析アプリ「トルト」のご紹介（やわらぎ西立川事業所）

今回は、デイサービスセンターやわらぎ・西立川で新しく取り組みを始めた AI による歩行分析アプリ「トルト」についてご紹介いたします。



（歩行撮影の様子）

Q：いつ頃からどのような経緯で取り入れましたか？

A：2023年6月にデイサービスの取り組みの一つとして AI による歩行分析アプリ「トルト」を導入しました。ご利用者様やご家族様からの要望が多い転倒予防に着目し、理学療法士の知見を基に開発された動画解析 AI がご利用者様の歩行状態や転倒リスクを評価してくれるものです。

トルトの良さは、何よりも歩行状態をご本人が確認できること、分かりやすい評価シートを共有できること、そして下肢筋力の向上に繋がる体操を提案してくれる点です。

Q：使用しての効果や具体的な活用方法を教えてください。

A：理学療法士がいない施設でもご利用者様の身体機能を把握し、より専門的なリハビリの質を高めるためのツールとして、トルトにおけるデータ分析がとても役立つと感じています。

歩行の改善効果として、定期的に歩行状態を撮影し分析することで、以前よりどのくらい点数が上がったのか下がったのかを評価表で『見える化』してくれる点が、体操へ前向きに取り組む意欲に繋がり、ご家族様やケアマネジャー様にもご好評いただいています。



（歩行評価表の説明）

Q：ご利用者様の様子や反響はいかがでしょう。

A：デイサービスのご利用者様は、いつまでも元気に歩けるように歩行分析の評価表に一喜一憂し、先月よりも今月の点数が上がるように真剣に体操に取り組む姿が見受けられます。

歩行に関して、こういった部分に不安や課題を感じているのか？といったことについても、評価表の点数や分析による改善点を整理し、ご利用者様が抱える歩行状態を分析する材料の一翼を担っています。このアプリを使って歩行の改善ポイントを把握することで弱点を見つけ、歩行の課題に取り組むことで介護予防にも繋がると感じています。

（やわらぎ西立川 橋本）



（歩行評価表）

他の事業所でも、様々な ICT 機器を活用して、ご利用者様の満足度向上につながる活動を実践中です。百聞は一見に如かず！ご興味のある方は、是非一度、ご見学にお越しください。

《介護職員初任者研修》

講義と実技、関連施設での実習を通して、「介護職員初任者研修修了資格」を取得することができます。
○期間：座学を15日程度、介護実技を5日程度、介護現場実習を4日程度行います。

○費用：0円（※別途テキスト代7,124円）

○申込：お近くの事業所のパンフレット、もしくはホームページから。

※今なら、就職支援キャンペーン中につき、条件に該当した方は「初任者研修」の受講料が実質無料となります！

【条件】特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ、もしくは社会福祉法人にんじんの会で3か月間以上勤務できる方

《介護福祉士実務者研修(通信課程)》

通信教育による個別学習（Eラーニングを含む）とスクーリング（面接授業）を通して、「介護福祉士実務者研修修了資格」を取得できます。

○期間：保有している資格により期間が異なります。約半年の通信教育と、7日程度の講義と実技を行います。

○費用：70,000円※テキスト代別

○定員：15名（毎回）

○申込：左側の初任者研修と同様です。

○その他：年1回春過ぎに開催予定です。詳しくは「ケア・センターやわらぎ 実務者研修」で検索。



《ヘルパーさん募集》

地域の介護を支える登録ヘルパーさんを募集しています。詳しくは訪問介護事業所までお気軽にお問い合わせください。

○募集職種：ホームヘルパー

○勤務先：立川市・国分寺市

○勤務形態：登録ヘルパー

○時給等：当法人規程による

○問合せ先：やわらぎ立川（東京都立川市）

電話 042-523-3463

やわらぎ国分寺（東京都国分寺市）

電話 042-327-0417



《ボランティアさん大募集》

各事業所では、ボランティアさんを随時募集しています。その方の、できる内容に沿ったボランティア活動をお勧め致します。

① ご利用者様と会話を楽しんでくださる方

② レクリエーションをお手伝いしてくださる方

③ 書道や手芸、カラオケ等を指導してくださる方

④ 植物のお世話をしてくださる方

⑤ 掃除やお洗濯などをお手伝いしてくださる方

⑥ 特技（楽器の演奏や手品など）を披露してくださる方

○お気軽にお近くの事業所へお電話ください。



《学生の方、就職をお考えの方へ インターンシップ募集》

インターンシップとは就業体験のことです。夏や冬の長期休暇や、学業の合間をみつけて、介護の実務に触れて仕事へのイメージを深めることができます。今までも多くの学生・社会人の方が参加され、高齢者フットケアイベントや介護体験教室の開催など、インターン生が主体になって実現できた企画も数多くありました。法人本部（042-526-2217）採用担当まで。

【編集後記】

今年は梅雨の時期も少なく7月から厳しい暑さの日々が続き、過酷な夏が到来しました。雨が降れば豪雨と雷鳴により、多くの地域で被害に遭われる等各地で災害が起きています。そんな過酷な夏でも、今年はオリンピックが開催され、必死で人生をかけているアスリートに心を奪われ、多くの感動を貰う事が出来ました。まだまだ暑い日々が続きますが、皆様も体調崩さず日々過ごせる事を願っております。

《お問い合わせ先》 介護などでお困りの時は、お近くの各事業所へお気軽にご相談ください。

◆ケア・センターやわらぎ 法人本部

○認知症予防プログラムだんだんダンス・子はたからプロジェクト
〒190-0013 東京都立川市富士見町 2-31-23
直通電話 042-526-2217 FAX042-526-2208

◆複合福祉施設「やわらぎホーム・西立川」

○グループホームやわらぎ・西立川（認知症対応型共同生活介護）
○ショートステイヤわらぎ・西立川（短期入所生活介護）
○デイサービスセンターやわらぎ・西立川（通所介護）☆
電話 042-526-2207 FAX042-526-2208
デイサービス直通電話 042-526-2209

◆やわらぎ立川

○ケア・センターやわらぎ立川（訪問介護）☆
○デイサービスセンターやわらぎ・立川（認知症対応型通所介護）☆
〒190-0022 東京都立川市錦町 2-6-23 小川ビル1階
電話 042-523-3463 FAX042-523-6842

◆やわらぎ国分寺

○ケア・センターやわらぎ国分寺（訪問介護）☆
○介護相談センターやわらぎ・国分寺（居宅介護支援）☆
○デイサービスセンターやわらぎ・国分寺（認知症対応型通所介護）☆
〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-1-2 エスポール花澤台1階
電話 042-327-0417 FAX042-327-0415

◆研修センター

○介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修
〒190-0022 東京都立川市錦町 2-6-23 小川ビル2階
電話 042-523-3552 FAX042-523-6842

☆マークはISO9001認証取得事業所です。



施設見学しませんか？スマホやパソコンからできます。

インターネットで施設の中を見学することができます。

お近くの施設をご覧ください。

https://yawaragi.or.jp/tour_1.html



編集・発行：特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ 広報広聴部会

住 所：〒190-0013 東京都立川市富士見町 2-31-23

電 話：042-526-2217（法人本部）

FAX：042-526-2208

ホームページ：<https://yawaragi.or.jp/>